

情報元：南海日日新聞社
日付：令和2年10月13日

母校へ絵画の複写作品寄贈

和泊町出身の中村さん

沖永良部高校

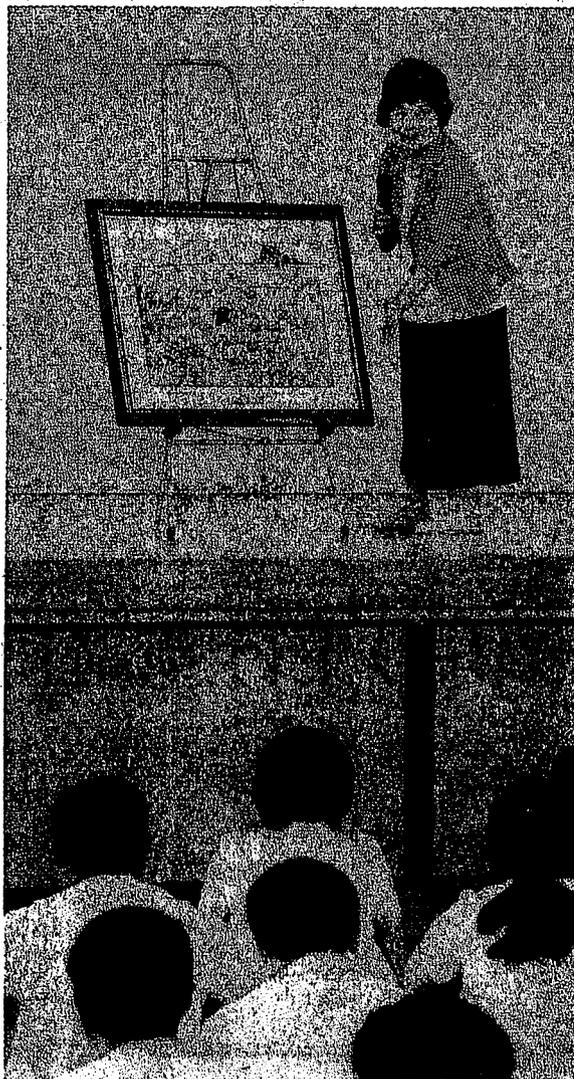
【沖永良部総局】県立沖永良部高校（室戸洋一校長、生徒254人）に12日、同校卒業生で和泊町和泊出身の中村音代さん（69）が新潟県村上市で絵画の複写作品を贈った。同校体育館で寄贈式があり、室戸校長から感謝状を受け取った中村さんは「生徒が芸術作品に触れる機会をつくりたいと寄贈した。作品を鑑賞してどんな感想を抱くのか楽しみに」などと語った。

寄贈された作品は米国の画家アンドリュー・ワイエスが1948年に描いた

「クリスティーナの世界」の複写。埼玉真の「丸沼芸術の森」で学芸員を務める中

村さんは「ワイエスの代表作。足が不自由な女性が草原をはって墓参する様子に衝撃を受けたワイエスが、実際の風景ではなく、大切に思えるエッセンスだけを描き込んで作品化した」などと同作品を紹介した。

作品は校内に展示する予定。同校2年で生徒会長の島愛貴さん（16）は「クリスティーナさんの周りの風景が開けていて自由さを感じた。草木も一本一本丁寧に描かれていてすごい作品だと思った」と話した。



絵画「クリスティーナの世界」について説明する中村さん。12日、県立沖永良部高校の体育館